

山層雲峡のビヅターセンター



【エソリス～3月】体長は約 25 cm、尾は 15 cm以上、体重は約 350 gあります。シマリスとは違い「頬袋」はありません。巣は樹洞を利用することもあります。小枝を集めた球状の巣をマツ等の枝の分かれ目に作ります。クルミを好みますが、食する時は堅果の合わせ目にそって殻を削り割り中の実を食べるので、2分された殻が残りよく見かけますね。繁殖期は2月、5月頃一度に5頭以上の子が産まれますが、生後2ヶ月ほどで親離れし単独生活をします。この日は、イタヤカエデの「樹液シロップ」を写真の通り舌を出しながらペロペロと舐めていました。実はほんのりと甘いのです。野鳥のシマエナガも枝先から滴り落ちて「ツララ」になったものをペロペロとお食事中でした。

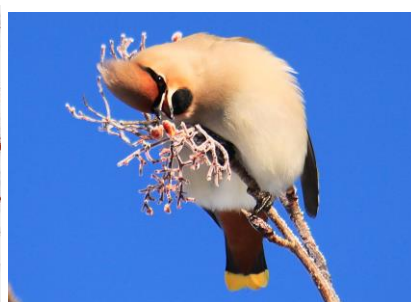


【レンズ雲～2月】凸レンズのような形をした特徴的な雲。山岳地帯において、風と地形の影響によって、山頂付近を湿った空気が昇る際に断熱冷却されてできます。多くの場合、強風や天候が悪化する前兆とされます。強風は上空から現れやすいことや、低気圧や前線といった悪天候の要因に伴って強風が吹くことが多いことから考えられています。写真は山岳波という振動が上空の気流にも影響して別のレンズ雲が現れ、二重三重の雲になったものです。様々な形がありますが、右の写真は昨年撮影したものです、はっきりとしたレンズ形になっています。



これだけのフンがあれば、もうバレバレですね

【エゾモモンガの痕跡～3月】来館のお客様に「モモンガはどこにいますか？」という質問を受けますが、繁殖期以外は基本「夜行性」です。但し、日の出と同時に樹洞から出て排泄をしますが、中々見つけることは難しいかもしれません。キツツキ類やエゾリスの古巣を利用しますが、連続した林の中であればどこにでも生息しています。普通に林の中を歩いても見つかりませんが、写真の通り「フン」を見つけるか、若しくはキツツキ類の古巣をみつけるか、広範囲に散らばったトドマツの葉の食べかすを見つけるか・・・意外と身近にいるかもです。



【今年もやってきました～2月】年によって飛来数が変動する「キレンジャク」今年もやってきました。「チリチリチリ」と、実に優しく鈴のような特徴のある鳴き声。中々の美声の持ち主です。

【エゾモモンガ記事が続きますが・・・～3月】写真はクマゲラの採餌木、随分と豪勢なお食事風景ですが・・・。なんとこのエゾヤマザクラの木「エゾモモンガ」の住処なのです。しかも、複数のエゾモモンガが樹洞の中に・・・。これだけ「突かれる」とさすがのエゾモモンガもたまらずお家から脱走です。今頃、モモンガは何処に・・・。

今年の雪は？

場所	層雲峡				上川町			
	2019年度		2018年度		2019年度		2018年度	
月/項目	降雪量	最深積雪	降雪量	最深積雪	降雪量	最深積雪	降雪量	最深積雪
11月	94	33	209	74	67	23	103	30
12月	189	74	198	97	173	51	190	68
01月	202	110	163	125	165	75	158	80
02月	111	129	121	132	125	80	123	90
合計	596		691		530		574	



層雲峡		上川町	
2019年度	2018年度	2019年度	2018年度
83	117	70	111
2018年度は3月末までの数値			
2019年度は3/24現在の数値			
3月も大変少ない降雪となりそうです。			

【今年度の降雪量と最深積雪】最深積雪は昨年とほぼ同数となっていますが(2月末現在)、降雪量は層雲峡・上川町ともに昨年比かなり少ないものになりました。年によりバラツキはありますが、この年度の降雪量は相当数少なく、特に年度末の小雪・高温等の影響で写真の大函周辺の大氷柱群(左が今年度・右が昨年度です)がまったく成長せず、センター講座の行程の変更を余儀なくされました。また、2月は大寒波が押し寄せ、また3月には雨が降ったりと、今年もお天気に振り回されそうな様相ですが、昨年のような6月に山岳地帯で「雪」などということは無いことを願いたいのですが……。その影響で、昨年はお花の状況が弱く推移しました……。 **注：数値は気象庁資料参照**



【フキノトウ～3月】

フキノトウが3月8日芽吹きました。昨年は3月21日でしたので、約半月も早いお目見えです。同日にネコヤナギも顔を出しましたので、今年度の小雪の影響で植物も早めの春を迎えたようです。

【キタキツネ～3月】

森の中を散策中、キタキツネがなにやら引きずった跡。獲物でも捕らえたかな?と思ひ、足跡を少し追跡するとほどなくキツネが寝ている所に遭遇。勿論、キツネはすぐさま起き上がり逃げましたが、なんと、足を引きずっています。見ると、明らかに腫れあがった前脚……。厳しい冬を乗り越えつつありますが、これでは餌も容易に獲れないでしょう……。

観察会のおしらせ。

■平成31年度年間講座■

4月には確定し皆様にご案内予定です。
今しばらくお待ちくださいませ。

★★観察会は事前申し込みが必要です★★

★★詳細についてはお問合せください★★



折って切って開いたら、あらすテキ♪
子供から大人まで楽しめます。
参加自由・無料/申し込みは不要です

■大雪山フィールドノート写真展■

(日時) 常時展示

皆様のお越しをお待ちしております。

【場所】ビジターセンターレクチャールーム

(内容) 一年を通じた大雪山の自然を写真と解説文で紹介しています。

しきものカレンダー

上川・層雲峡気象！(降雪量は10cm以上記録)		3月！	
1/21	上川町降雪10cm	3/2	オジロワシ 上
1/24	層雲峡降雪24cm 上川町16cm	3/3	彩雲 上
1/31	層雲峡降雪29cm 上川町17cm	3/4	オジロワシ、オオワシ 上
1/31	1月降雪量 層雲峡202cm 上川165cm	3/5	エゾキウサギ キツネに襲われる 上
	昨年同月 層雲峡163cm 上川158cm		エゾモモンガ繁殖期 かなり早い繁殖期 上
	1月積雪深 層雲峡110cm 上川75cm	3/8	フキノトウ・ネコヤナギ芽吹く(昨年3/21) 上
	昨年同月 層雲峡125cm 上川80cm	3/9	アオシギ 上
2/1	上川町最高気温-10.4℃	3/10	エゾモモンガ 上
2/4	層雲峡降雪23cm 上川21cm	3/12	クマゲラ 層
	上川町最大瞬間風速22.2m/s 2月観測史上1位	3/13	オジロワシ、イイズナ 上
2/5	層雲峡降雪12cm 上川20cm	3/16	彩雲、樹液シロップ 上
2/8	センター前最高気温-16℃ 上川町最高気温-12.6℃	3/17	オオワシ、オジロワシ 上
2/9	上川町最低気温-26.5℃	3/20	エゾリス、シマエナガ群れ 上
2/18	層雲峡降雪18cm	黒岳気象他！	
2/26	層雲峡降雪10cm	3/7	七合目積雪310cm(昨年同日470cm) 黒
2/28	2月降雪量 層雲峡111cm 上川125cm	3/20	七合目積雪320cm(昨年同日485cm) 黒
	昨年同月 層雲峡121cm 上川123cm	カレンダー期間 01/21-03/20 観測地：上・上川 層・層雲峡 黒・黒岳	
	2月積雪深 層雲峡129cm 上川80cm		
	昨年同月 層雲峡132cm 上川90cm		
3/6	層雲峡降雪12cm 上川22cm 上川一時降雨		
3/9	層雲峡・上川一時降雨		
3/14	層雲峡降雪10cm		
3/17	層雲峡降雪12cm		
1月！			
1/25	オオワシ 上		
1/27	彩雲 上		
1/30	キタキツネ 層		
2月！			
2/3	オジロワシ 上		
2/5	イイズナ 上		
2/7	エゾリス 層		
2/8	ウソツがい、シマエナガ群れ 上		
2/9	オオワシ、オジロワシ 上		
2/10	キタキツネ親離れ後の小さな個体、クマゲラ 上		
2/16	エゾモモンガ 上		
2/17	彩雲 上		
2/19	レンズ雲 上		
2/20	クマゲラ 層		
2/21	イイズナ 層		
2/23	シマエナガ群れ 上		
2/24	エゾリス繁殖期、彩雲、日暈 上		
2/25	エゾリス 上		



【エゾモモンガ～3月】

暖かく推移した影響で、今年の繁殖は3月初旬に始まりました。



【シマエナガく3月】最近すっかり人気者の野鳥、写真集やファンクラブまで。

発行：大雪山国立公園



TEL 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401

アドレス : <http://www.sounkyovc.net/>

開館時間 6月～10月/8:00～17:30無休・入館無料

11月～5月/9:00～17:00月曜日休(祝祭日は翌日)

2019年03月25日発行 M・K

今月の子ビたわ



きのこ



比較的新しい「ヒグマ」の爪跡。気象の影響等で、今年は2/下旬に若い熊は冬眠から目覚めています。十分注意されて下さい。

白黒紙面でご覧の皆様へ～パソコンをお持ちの方は、上記のアドレスで公開していますので、そちらもご覧下さい。